

# 連続講座

移住者の権利キャンペーン2020  
「ここにいる koko ni iru.」企画

## 移民二世からの研究発信

外国から出稼ぎ労働者が来日するようになって30年が経過し、日本で育った子ども世代のなかから、「移民研究者」が誕生しています。「移民」を、みずから経験してきた研究者たちは、自分たちを対象としてきた先行研究をどのように読み、研究者としてみずからはどのようにアプローチしていくのでしょうか。

第6回目は、「ハーフ」をテーマとして、下地ローレンス義孝さんとケイン樹里安さんからの報告と、竹沢泰子さん、古屋哲さんからのコメントです。

### 報告1: 下地ローレンス吉孝

(港区立男女共同参画センター)

「日本人」と「外国人」の二分法を問い直す  
—「混血」「ハーフ」の社会史から—

### 報告2: ケイン樹里安

(大阪市立大学都市文化研究センター・桃山学院大学・大阪国際大学)

「ハーフ」の問題含みの日常をいかに描けるか  
—関西のメディア・コミュニティを手がかりに—

コメンテーター: 竹沢泰子(京都大学)

古屋哲(大谷大学・立命館アジア太平洋大学)

日時: 2018. 10. 6 Sat. 14:00~18:00

場所: 京都大学人文科学研究所101号室



申し込み不要・無料

移住者の権利キャンペーン2020

「ここにいる koko ni iru.」  
とは

移住者と連帯する全国ネットワーク(移住連)は、移住者と多様なルーツをもつ人々の権利と尊厳が保障される社会、制度、政策をめざして、多くの人が参加し、意見を出し合う場をつくる、移住者の権利キャンペーン2020「ここにいる koko ni iru.」をスタートしました。

タウンミーティングなどを通し、移住者あるいは外国にルーツを持つ方々が「ここにいる」ことを社会に広めるとともに、2020年に向けた政策提言を発表します。

主催: 上智大学グローバルコンサーン研究所  
共催: NPO法人移住者と連帯する全国ネットワーク貧困対策プロジェクト・  
立命館大学生存学研究センター、大阪大学大学院人間科学研究科附属未来  
共創センター

お問い合わせ: Tel: 070-6519-1391 inabananako@gmail.com (稲葉)

